

# 留学報告書

記入日: 2014年9月12日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学史学地理学科西洋史学専攻
留学先国	フランス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: フランス国立東洋言語文化研究学院 現地言語: Institut National des Langues et Civilisations Orientales
留学期間	2013年9月～2014年6月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1～3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	日本学部
帰国年月日	2014年6月27日
明治大学卒業予定年	2015年9月



留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月下旬~1月下旬 2学期:1月下旬~5月下旬
学生数	
創立年	1669年

留学費用項目	現地通貨(€)	円	備考
授業料	0	0円	協定校留学のため
宿舍費	5,380	約70万円	
食費	1,420	20万円	
図書費	30	4,500円	
学用品費	15	2,000円	日本から文房具等持参したため少ない
教養娯楽費	714	10万円	
被服費	50	7,000円	
医療費	260	36,000円	ワクチン接種のため
保険費	211	3万円	形態:フランスでの社会保険のみ +日本で加入した海外旅行保険
渡航旅費	1,285	18万円	
雑費	357	5万円	
その他		円	
合計	9,722	128万円	

### 渡航関連

渡航経路:飛行機(直行便)
渡航費用 チケットの種類 <u>オープンチケット</u> 往路 _____ 復路 _____ 合計 <u>約18万円</u>
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。
エールフランスからチケットを購入

### 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)
寮(パリ国際大学都市ポルトガル館)
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 _____)
3)住居を探した方法:
INALCO が手配
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
キッチンや寮内でのパーティーで、様々な国から来た学生と交流ができて良かった。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？
<input type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した：アメリカンホスピタルパリ
2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。
フランスに住んでいる友人
3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
危険地域情報はガイドブックやインターネットで収集し、夜遅く帰宅する際は電車では人が多い車両に乗ったり、タクシーを利用したりした。犯罪に巻き込まれることはなかったが、日本人留学生在が数人スリに遭った。
4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について) 現地での利用はいかがでしたか。 (例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
日本から Wi-Fi 機器を持って行き、寮内の有線 Wi-Fi を利用して部屋全体で Wi-Fi を使えるようにした。学校や街の中でも Wi-Fi が接続できる。
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
日本で海外でも出金できる銀行で口座を作り、そこに親から入金してもらった。また、クレジットカードのキャッシングも利用した。
6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
海外で使える日本製品向け延長コード

## 進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
19.5 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 6 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Histoire de l'art classique	日本美術史
科目設置学部・研究科	日本学部
履修期間	前期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回
担当教授	Mme.LEGELLI
授業内容	日本の絵巻物や水墨画についての講義
試験・課題など	正規の生徒は記述式テストだが、留学生とのことでレポート採点。前期で取り扱ったものについてのまとめと考察を書く。
感想を自由記入	フランス語のスライドを書き写すことに一生懸命になっていましたが、なじみのある用語もたくさんでてきました。日本にいる間にたくさん予備知識をつけておけば、よりわかりやすかったと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Version	和文仏訳
科目設置学部・研究科	日本学部
履修期間	後期
単位数	2
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル形式
授業時間数	1週間に 60 分が 1 回
担当教授	Mme PARMENTIER
授業内容	日本語の小説や論説文を読み、宿題としてフランス語に訳してきたものを一週間に一段落ずつ発表する。また、全員が先生の添削を受ける。
試験・課題など	提示された日本語の文章を全文フランス語に訳す。辞書持ち込み可。
感想を自由記入	一文一文が長く、フランス語に訳す際に挫けそうになることが多かったですが、フランス人の友達と一緒にやることで、やりきることができました。先生もフランス人と日本人と一緒に勉強することを勧めていたので、環境としては良かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Expression écrite & orale		フランス語(ライティング・オーラル)
科目設置学部・研究科	留学生向け	
履修期間	前期・後期	
単位数	6(前期3、後期3)	
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	ほぼ講義形式	
授業時間数	1週間に90分が2回	
担当教授	M.LOUBATIERES	
授業内容	écrite では、口語でよく使う表現や基礎的だが複雑な文法について学ぶ。 orale では表現や文法を踏まえ、ボキャブラリーの知識も交えつつ、生徒と先生がちょっとした質疑応答を行う。	
試験・課題など	écrite は授業内で行われるテストと出席状況で成績をつける。 orale は先生と一対一で会話の試験を行う。	
感想を自由記入	先生は昔ながらの講義を行う先生らしく、授業中に使う例文も普段使うことのない例文が多かったです。しかし日本ではあまり詳しく教えてもらえなかった文法を繰り返し授業で扱ったので、理解を深めることができましたと思います。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Compréhension écrite & orale		フランス語(リーディング・リスニング)
科目設置学部・研究科	留学生向け	
履修期間	前期・後期	
単位数	6(前期3・後期3)	
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	チュートリアル	
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回	
担当教授	Mme.ARGAUD	
授業内容	先生が作成したテキストを使って授業を進める。 écrite では、長文や告知などの読解を行う。 orale では、音源を聞いて問題に回答する。	
試験・課題など	どちらも授業内の小テストと出席で成績をつける。	
感想を自由記入	先生は優しく、どんな小さな質問にも答えてくれて、授業の充実度は高かったと感じました。読解・聞き取りどちらもまず最初にボキャブラリーのチェックから入るので、単語の数も少しずつ増やすことができます。	

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2012年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	明治大学で留学志願の準備
2013年 1月～3月	
4月～7月	INALCO から入学許可証が届く 日仏会館主催留学セミナーへの出席
8月～9月	ビザ申請・許可、出発
10月～12月	OFII(移民局)滞在許可証、アロカション申請
2014年 1月～3月	学期末試験、イナルコ日本文化の日
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	私は西洋史学専攻に在籍していて、フランス語を専攻していたわけではないのですが、大学生活のうちでフランスに留学しようと1年生の時から決めていました。フランスは元から好きでしたし、海外で生活し日本との違いを体感したいというのも理由の一つでしたが、なにより「何か一つ挑戦してみよう」と思ったからです。そのためフランス語を第二外国語で選択し、勉強を進めていました。
留学のためにした準備, しておけば良かったと思う準備	語学力の向上、特に聞き取りの練習をもっとしておけばよかったと思います。INALCO は日本語が上手な生徒がたくさんいるので、日常会話に困ることはないのですが、授業はもちろん大人数が集まるときはフランス語が主なので、会話を流してしまうこともありました。また、日本の歴史や文化のみならず、ポップカルチャーの知識など、幅広く日本の知識をつけておくといいと思います。
この留学先を選んだ理由	パリ中心部にあるということと、日本学部が設置されているので、たくさんのフランス人と日本語や日本文化を通して友達になれるのではないかと考えたからです。また、恩師の出身校でもありました。
大学・学生の雰囲気	INALCO は西洋以外の言葉や文化を学ぶための大学で、フランスということもあり人種や宗教、出自が様々な学生が多く集まっています。ですが休み時間はみんな和気藹々としていて、そのような違いはあまり感じられません。また、図書館はもちろんカフェテリアでも熱心に勉強している学生がたくさんいました。
寮の雰囲気	INALCO に通う日本人がたくさんいたので、集まってご飯を食べることが日常でした。もちろんさまざまな国から来た学生もたくさんいます。キッチンなどで話す機会もありましたし、寮が主催するダンスパーティーで日本人以外の学生とも交流することもできました。レセプションのマダムも優しく、帰国の日まで色々とお助けしてもらいました。
交友関係	日本学部ということもあり、フランス人の友人はすぐにできました。学校側も様々な交流イベントを開催してくれました。日本人の間で計画し、寮の一室を借りてイナルコの友人を呼んでパーティを行うこともありました。また、日本にいた頃からの友人がパリで既に大学院に通っていたので、その友人を通じてまた友人が増えるということもありました。
困ったこと, 大変だったこと	OFII やアロカシオン、携帯の申し込みなど、手続きがどれも大変です。提出したはずの書類が届いていなかったり、数か月経ってから突然書類の不備を責められたりする日本人が私も含めてたくさんいましたので、どこに提出する書類であっても、必ずコピーを数枚とってから提出したり、送付することにしていました。
学習内容・勉強について	日本学部在籍し、前期は日本美術史、後期は仏訳の授業をとりました。日本美術史では聞いたことのある言葉や予備知識があったので理解することができましたが、細部まで理解することはやはり難しかったです。しかし先生の許可で試験をレポートにもらい、フランス語でレポートを仕上げ提出し単位を取得することができました。仏訳の授業ではフランス人の友達に毎週添削してもらい、何とか授業についていくことができました。他に留学生向けのフランス語の授業と、日本学部の学生との交換授業もありました。
課題・試験について	美術史の試験の代わりに図書館の本を読み、授業中のノートを片手に朝までエッセイを必死に書いたことを覚えています。和文仏訳の授業も複雑な日本語の文章を毎週コンスタントに訳し、先生にメールで提出しなければならなかったのもとても大変でしたが、友達の助けや先生の温かい指導のおかげで最後の試験までしっかりやり遂げることができ、とても嬉しかったです。
大学外の活動について	在仏の友達とも積極的に連絡を取り、大学内だけでなく大学の外でも交流を持つようにしました。また、学生都市でのイベントにも参加しました。
留学を志す人へ	留学中は楽しいことももちろんたくさんありますが、苦しいこともあります。自分の語学力に悩んだり、理想の留学との違いやうまくいかないことに苦しんだりします。ですがそこでずっとくすぶるのではなく、「自分らしさ」を大切に動くことが大切です。日本にいる時よりも世界がぐっと広がるので、相談できる友達も答えも日本にいるときよりたくさん見つかりますし、自分の価値観もがらっと変わります。変化を恐れず、常に動くことが大切だと思います。どんなことにも勇気をもって挑戦してみてください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	家事		家事		授業		起床
							マルシェへ
午後	授業	交換授業	外出	授業	授業	外出	外出
		授業		交換授業			日本の家族との電話
夕刻	交流会			買い物		家事	家事
夜	勉強	家事	勉強			勉強	